

最新情報は、市ウェブサイトでチェック

※市ウェブサイトで、新型コロナウイルス感染症に関する情報を日々更新しています。市ウェブサイトを活用し、正確な情報入手してください。



▲特設サイト

市公式SNSでも情報発信中



感染者情報や感染症対策などを発信しています。

感染リスクが高まる「5つの場面」

scene1 飲食を伴う懇親会



- 飲酒でテンションが高くなると注意力が低下し、大声になります。
- 狭い空間に長時間、大人数がいると、感染リスクがUPします。
- 回し飲みや箸などの共有は感染リスクがUPします。

scene2 大人数や長時間の飲食



- 長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒は、短時間の食事に比べて、感染リスクがUPします。
- 大人数の場合、大声になり飛沫が飛びやすくなります。

scene3 マスクなし会話



- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染のリスクがUPします。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。

scene4 狭い空間の共同生活



- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間になるため、感染リスクがUPします。
- 寮の部屋やトイレなどの共有部分での感染が疑われる事例もあります。

scene5 居場所の切り替わり



- 仕事での休憩時間など、居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により、感染リスクがUPすることがあります。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例もあります。

いつ、どんなときも守ってほしい「3つのお願い」

- 1 基本はマスクの着用、3密の回避を徹底してください。室内は小まめに換気しましょう。
- 2 集まりは少人数・短時間を徹底してください。大声を出さず、できるだけ静かに。
- 3 帰宅後は手洗い・うがいを徹底してください。共有施設を使用したら、清掃・消毒を。

市内の新型コロナウイルス感染者の傾向と予防対策について

※4月20日現在の情報

市内において、急速な感染拡大が起こっている今、市内の感染者の傾向と予防対策を次の通りまとめました。市民一丸となって、「感染しない、感染させない」を徹底しましょう。

1 市内の感染者数

- 市内在住者で、累計264人が新型コロナウイルスに感染しました。
- 年代別では、最も多い順に20代が30.3% (80人)、30代が16.7% (44人)、10代が12.1% (32人)です (表2)。

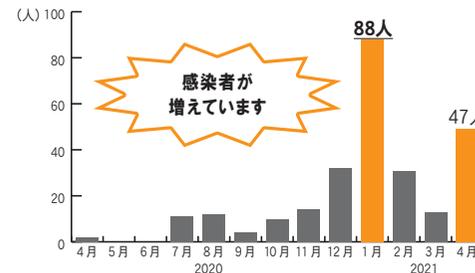


表1: 月別の感染者数

新型コロナウイルス感染症の特徴

- 潜伏期間は1~14日間
- 感染してから発症まで平均5~6日
- 発症する2日前から発症後7~10日程度が感染可能期間(人にうつしてしまう可能性のある期間)
- 無症状者からもうつる可能性がある。

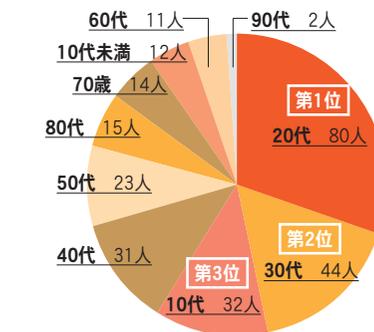


表2: 年代別の感染者数(累計感染者264人の内訳)

2 感染者の症状

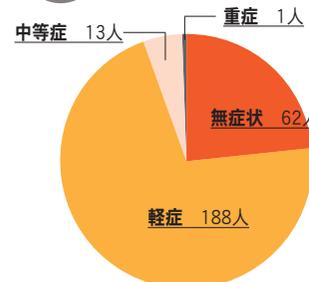


表3: 症状別の感染者の割合

重症: 集中治療室に入室または人工呼吸器が必要
 中等症: 息切れ、肺炎などの所見がある症状
 軽症: 呼吸器症状や息切れはなく、咳のみなどの症状

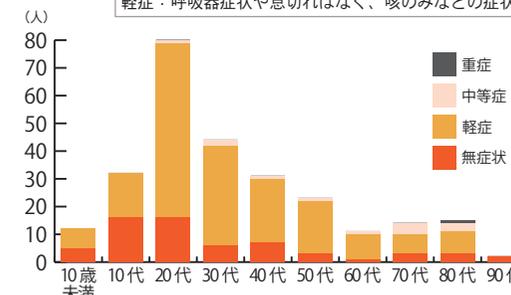


表4: 年代・症状別の感染者数

- 「軽症」「無症状」の方が多いため、日頃から感染予防対策を徹底してください。
- 基礎疾患のある方が多い高齢者では、感染すると重症化するリスクがあります。
- 「軽症」「無症状」でも安心ではなく、その後症状が悪化することがあります。
- 症状があれば、必ず医療機関で受診してください。